

くろゆり通信



平成26年7月発行
国土交通省中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所
小渋川支部安全協議会

今回のくろゆり通信では、大鹿小の現場見学会、三六災害献花式の様子、熱中症の予防対策などについて紹介したいと思います。

大鹿小現場見学会

7月3日に大鹿小学校の3、4年生の皆さんを対象とした砂防現場見学会が開催されました。ビデオや模型により『砂防』について勉強した後、砂防堰堤を新たに作っている工事現場へ向かい、作業状況の見学や重機の操作体験などを行いました。その後、昨年度に国の天然記念物に指定された安康露頭を見学し、最後に記念の魚放流体験が行われました。



砂防事業、地すべり事業について説明を受けました。



重機前にて記念撮影

砂防堰堤の現場での重機操作体験



運転手と一緒に重機へ乗り込み、操作方法を教してもらいながら、土砂の掘削・旋回作業などが行われました。

「みんな、すぐに重機の動かし方が理解できて、うまく扱える子が多いことにとっても驚いた。」

重機運転手

「昨今、土木・建築の分野への関心、就職率が下がってきているため、今回のような現場体験を通じて少しでも建設業に目を向けてもらえたら良いと感じた。」

監理技術者



魚の放流体験



中央構造線 安康露頭見学

三六災害献花式

6月27日、大鹿慰霊碑および文満慰霊碑において、三六災害の犠牲者への献花・焼香が行われました。



自作我古

慰霊碑には『自作我古』と記されています。これは、「我、自ら昔を回想し、古い事例に囚われる事なく独創によって新しく住みよい地域社会を開くことが必要である」という教えを説いたものだそうです。

熱中症対策について

近年、気温が30℃を超える真夏日が多くなったことで、熱中症を患う危険度が増大しています。これから夏本番を迎えるにあたり、日頃から熱中症への予防・対策をしておくことが重要です。

そこで今回は、建設現場において実際に使用されている熱中症対策の商品等を紹介致します。



- ①携帯型熱中症計：温度・湿度を自動計測し危険時にはブザーが鳴って知らせてくれる。
- ②環境管理温湿度計：熱中症の危険度が目安化され一目で分かりやすい。
- ③塩飴：休憩時に手軽に塩分・ミネラルが補給できる。
- ④簡易テント：日陰で休憩(ウレシ)くして熱中症リスクを低減。
- ⑤熱中対策応急セット：早期に対応すれば症状も軽く済みます。
- ⑥レスキューベンチ：通常はベンチとして、緊急時には担架に早変わり。

熱中症の予防に有効とされる対策としては「発汗時に失われる水分・塩分・ミネラルを定期的に補給する」「気温・湿度の変化を踏まえた行動計画と体温調節を行う」「睡眠をしっかりと取り、体力・体調の維持に努める」などが挙げられます。これらを踏まえ、市販の商品を上手に利用した対策を取ると共に、日々の健康管理を心がけることが大切です。熱中症なんかに負けずに、暑い夏を乗り切りましょう！！

平成25年度
天竜川水系 塩川第2砂防堰堤付替道路工事

木下建設株式会社



監理技術者
藤田 裕司